

パッションフルーツの新たな露地栽培法「主枝上結実密植栽培」

利用対象：果樹栽培農家

○パッションフルーツは露地でも 1 年 1 作体系での栽培が可能です。夏の高温期に着花が安定せず、秋期に開花結実した果実は成熟が遅くなるため、早期収穫が求められています。通常の逆 L 字仕立て栽培より早期収穫が可能で、収量も向上する新たな露地栽培方法を考案しました。

<特徴>

- 4 芽で挿し木した「大苗」を用いると 2 芽で挿し木した通常苗より前期の開花が多くなります。
- 同栽培法は通常の逆 L 字仕立てと比べて開花数、収量とも多くなります。
- 10a 当たりの開花数、収量は密植する方が多くなりますが、果実が小さくなり、糖度も低下する傾向があります。
- 植栽間隔を株間 1m×条間 2m とすると、逆 L 字仕立て（株間 2m）よりも早期に多くの果実を収穫することが可能で、70g 程度の果実を 1,200kg/10a 程度収穫できます。

主枝に結実させながら棚線で主枝を摘心、副梢は水平に誘引、樹冠は密植で解決！

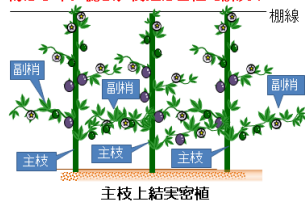


図 1 主枝上結実密植栽培樹形



図 2 大苗と通常苗
(挿し木時)

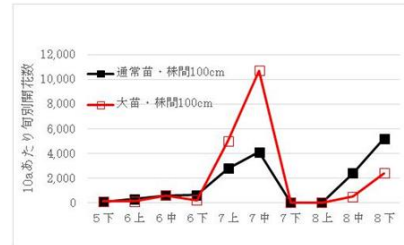


図 3 大苗、通常苗の旬別開花数(2017)

表 1 仕立て方、植栽間隔の違いによる開花数、収量、果実品質 (2018)

区名	樹形・株間	開花数 (個/10a)	月別収穫数(個/10a)			収穫果数(個)		収量 (kg/10a)	果重 (g)	果皮色	糖度 (Brix%)	酸度 (%)
			7月	8月	9月	1樹あたり	10a換算					
試験区	主枝上結実・50cm	57,000a	3,750a	27,000a	2,167	32.9ab	32,917a	2,255a	68.6b	2.1	16.9b	3.94ab
	主枝上結実・1m	24,500b	3,042ab	12,542b	333	31.8ab	15,917b	1,215b	76.4a	1.9	17.2b	4.01ab
	主枝上結実・2m	18,222bc	2,028b	9,361b	306	46.7a	11,694bc	918bc	78.5a	1.8	17.6ab	4.06a
対照区	逆L字仕立て・2m	9,083c	333c	6,167b	167	26.7b	6,667c	518c	77.9a	1.6	18.9a	3.55b
有意差		*	*	**	ns	*	*	**	*	ns	*	*

9月末までの開花または収穫した果実を対象とした。

Tukeyの多重検定により異符号間で有意差(**1%,*5%)あり

<留意点>

- 県内全域で栽培が可能です。風当たりが強い場所は防風ネットの設置や支柱の固定等、防風対策が必要です。
- 植え付けにあたり、晩霜を避けてください。
- 植付時に 1.5m 程度の健全な苗木を確保する必要があります。このため挿し木は前年 8 月に行い、冬期は 0℃ を下まわらないよう施設内で育苗します。

お問い合わせ先	生産技術研究室 地域連携研究課 中央農業改良普及センター	鈴木孝明 西川 豊	電話 0598-42-6356 電話 0598-42-6707
参考になる資料	http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm 栽培マニュアル「パッションフルーツの新しい栽培方法」		